

【議会報告会】

○決算資料に、訪問看護ステーションへの病院看護師の派遣が 9 名との記載があるが、どのような内容であるのか確認したい。

⇒議員 昨年度、病院看護師が訪問看護ステーションに研修として派遣された人数であり、病院看護師が、在宅医療、訪問看護に関する知識を習得するための研修である。

○本市において、生活保護を受ける人員数を確認したい。

⇒議員 決算資料によると、平成26年7月1日現在で保護人員は3,979人であった。

○市立博物館、プラネタリウムの観覧料について、決算審査で議論があったとの説明であったが、現在の金額と議論の内容について確認したい。

⇒議員 市立博物館は、無料であり、プラネタリウムは、一般540円、高校・大学生380円、小・中学生210円、幼児無料である。今回のリニューアルにあたっては、以前からの金額を据え置いた観覧料である。担当部局からは、観覧料についての具体的な検討は行わなかったとの答弁があったため、委員からは、利用状況を調査した上で、根拠のある適正な利用料を割り出す必要があるとの意見や、他の公共施設の利用料も含めて、全庁的な検討が必要であるとの意見があった。

○今年度、本市の待機児童数は大幅に増えており、保護者は大変困っている。保護者が安心して仕事ができる環境をつくるためにも、今定例月議会の一般質問でも取り上げられた「子ども・子育て支援新制度」、「幼稚園・保育園の将来」のことについて、当委員会で議論は行われたのか。

⇒議員 今定例月議会の教育民生常任委員会協議会において、幼稚園・保育園のあり方について、担当部局から幼稚園・保育園のあり方検討会議の経過、進捗状況に関する報告を受け、多くの議論を行った。今後、関係する団体との意見交換を行ったり、あり方検討会議からの答申を受けて、議員説明会や11月定例月議会において、さらなる議論を行っていく。

## 【シティ・ミーティング】

○先日、中央緑地へ行ったら、駐車場が満車で車を停めることができなかった。今後の施設整備にあたっては、駐車場の立体化など駐車台数を増やしてほしい。

⇒議員 先日の議員説明会において、駐車場の整備については、議員からも多くの意見や要望を担当部局に対して行ったところである。今回の施設整備は改善のチャンスであり、先を見据えた整備計画となるよう、議会として議論していきたい。

○今後、少子高齢化が進む中で、国体やインターハイが開催されるからといって、新たな施設の建設に多額の予算をつぎ込むことがいいのか施設整備の是非について議論が必要である。本市の将来の展望を見据えて、十分に検討しなければならない。

⇒議員 単なる施設整備だけに終わってはならないことから、今年度、本市議会として、スポーツ振興に関する条例の制定に向けた議員政策研究会を立ち上げたところである。調査研究を行う中で、議会として意見が集約された場合には、議員提案によるスポーツ振興条例の制定を目指し、年齢や性別に関係なく、誰もが健康でスポーツを楽しむことができる内容としたいと考えている。

○元気な高齢者が運動を通じて若い人たちと連携して活動することで、市民の体力向上の一翼を担っていけると考える。高齢者が中央緑地に気軽に行くことができるように、中央緑地行きのバスを整備、充実してほしい。

⇒議員 バスは有効な交通手段であり、貴重なご意見として検討したい。また、中央緑地は、あすなろう鉄道日永駅や近鉄新正駅からも近いことから、それぞれの駅から誰もが歩きやすい環境整備についても、議論を進めていきたい。

○本市で行われる国体の競技種目のうち、カヌーとゴルフの会場はどこか。

⇒議員 カヌー（スプリント）は伊坂ダム、ゴルフは四日市カントリー倶楽部でそれぞれ予定している。カヌー競技における施設整備は、県の補助による仮設で行われる予定であり、大きな財政負担は伴わないと担当部局からは説明を受けている。

○テニス、サッカー、野球を行う施設は、現在でも市内に数多くあるが、他の競技を行う

施設は非常に少ない。本市が一部の競技種目を優遇しているようであり、例えば、テニスやサッカーを周辺市町で分散開催するなどして新たな施設を建設せずに、他市町での開催種目を本市で一部開催して施設を充実させるなど、一部種目に偏らない施設整備の考え方はないのか。

⇒議員 国体における開催会場の選定にあたっては、まず、各競技団体がどの市町で開催したいかとの意向を受けて、三重県体育協会が他の競技種目との調整を図りながら、開催を希望する市町を要望していく。テニスやサッカーについては、本市にある学校が全国規模の大会で活躍している実績があるにもかかわらず、施設整備が非常に遅れていたという背景があり、今回の国体開催を機に整備することとなった経緯がある。特定の競技種目に対して優先的に施設整備を行っている訳ではなく、全ての市民がしたい時にしたいスポーツを楽しむことができる環境整備を進める考えである。

⇒議員 本市は、全国からアクセスしやすい立地上の利点から、大会を誘致しやすい条件が整っている。今回の施設整備計画では、全国大会や東海大会などが誘致しやすく、また、円滑な大会運営が図れるように、サッカーは中央緑地に、また、テニス・野球は霞ヶ浦緑地と1カ所に集約していると担当部局から説明を受けており、その方向性は理解している。

○本市において、自転車競技部を持つ高校が2つもあることから、国際的なレースが開催できるような自転車競技場を整備する予定はあるのか。

⇒議員 四日市競輪場は、メインスタンドの耐震補強工事が予定されており、2つの高校の自転車競技部については、トラック練習で四日市競輪場を使用することができる環境にある。現在、国内の自転車競技において、国際的なトラック競技場をつくっていく方向性にはなく、また、ロードレースにおいても、本市は、以前、国内最大級のツール・ド・ジャパン 四日市ステージを開催していたが、東日本大震災を契機として被災地で開催されるなど開催地を集約していく中で、本市で行われなくなった経緯もある。

○現在の計画地は、国道1号線・国道23号線沿いで交通集中が激しい場所であるため、あすなろう鉄道や近鉄湯の山線沿線などへの建設を検討しなかったのか。特に高齢者は、

自動車の運転が難しくなるため、公共交通を利用しやすい場所での施設整備をお願いしたい。

⇒議員 公共交通の利用促進の面から考えると、あすなろう鉄道沿線に建設できればよいが、建設できる広さの公共の土地を確保できない。本市が新たに土地を購入すると、膨大な予算が必要となることから、既存施設を建て替える計画となったと理解している。担当部局からは、公共交通を利用しやすいような動線の整備を行うことを確認している。

⇒議員 四日市シティロードレースの開催の際には、公共交通の利用促進を周知するためのパンフレットの配布や、公共交通を利用した参加者に記念品を贈るなどの取り組みも行っている。今後も、より一層の周知が進むよう取り組みを進めなければならないと考える。

○霞ヶ浦緑地は、国道23号線の渋滞の影響もあって駐車場に入りやすく、駐車台数も少ない。また、霞ヶ浦までの定期運行バスがなく、子供向けのイベントがあっても参加できない親子がいるなど、自動車を運転できない人にはアクセスしにくい。駐車場整備と公共交通機関のアクセスの点で、全ての市民が施設を利用しやすい環境づくりを検討してほしい。

⇒議員 ご意見として承り、今後の参考としたい。

○中央緑地は、両側が鹿化川と天白川に囲まれている。今回、多くの予算を投入するのであれば、スポーツ施設整備と併せて、同緑地の東側部分に洪水の被害を防ぐための調整池をつくってほしい。

⇒議員 どこに調整池をつくれば洪水対策において一番効果的であるのかについては、専門的な知識も必要であり、即答できない。中央緑地公園内が一番効果的な場所であれば、調整池の造成を検討する余地もあると考える。